スマホアプリ『妊婦手帳』を用いた妊婦健診

- その問題点と今後の展開 -

スマホの活用とロングデータ

NTT東日本関東病院 杉田匡聡





患者さんからの質問はいろいろ

美容室に行っても良いか?

旅行に行っても良いか?

温泉に入っても大丈夫か?

インフルエンザの予防接種?

花粉症の薬は?

説明してあげたい でも時間がない



正しい教材で 自己学習して欲しい



美容室? 旅行? 温泉? 予防接種? 花粉症?



短時間で質の高い健診

- 知りたい時に、簡単に調べられる環境の整備
 - → 患者さんが使用したくなる
 - → 正確な情報に基づく自己学習の促進
- 自宅での状態を把握
 - → 受診時の的確な質問と返答

時間を有効に使用することが可能

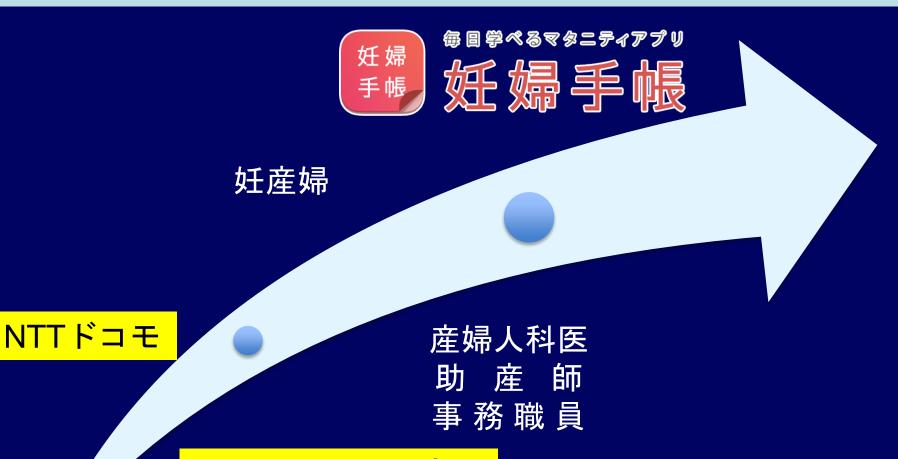
意義:電子マタニティーブック

『少しの時間で自己学習』 『患者さんが自分でデータを入力』

- → 紙のマタニティーブックは不向き
- → PCでは、わざわざ入力するのは大変
- → いつも持ち歩いているスマートフォン

妊婦の70%が使用していることが判明

『妊婦手帳』の開発



博報堂

NTT東日本関東病院

いつでも持ち歩いているスマートフォン妊娠する年齢層ならば使いこなせるはず!



「いつでもどこでも 正しい情報を得たい」

「基本的なことはなるべく 自分で学習して欲しい」





「使わせる」のではなく「使いたくなる」工夫

実証実験

2013年6月~8月

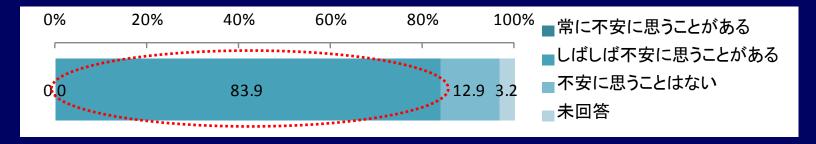


妊婦 手帳

妊婦生活に対する不安と、その解消法

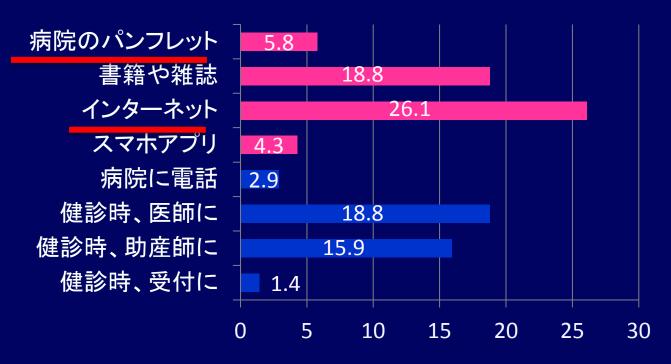
Q:現在、妊娠・出産を控えてどの程度不安に感じています

か。



Q:不安の解消法は?:不安に思うと答えた26名(複数回答可)

本は持ち歩かない 正しい情報?



2013年12月10日 使用開始

外来でチラシを設置

登録患者数 : 344名

42週前患者数: 181名

約30%の妊婦が使用

提携病院は40件 全都道府県で 50000 ダウンロード

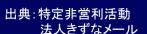
アプリの機能

①妊娠週数カウンタ (毎日更新)

②Today'sBaby (毎日更新) ③よくあるQ&A (毎週更新) ④To Doリスト (毎週更新) ⑤体調入力 (毎日入力) ⑥病院からのお知らせ (随時配信)









出典:株式会社 保健同人社



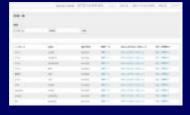
出典:特定非営利活動法人きずなメール ほか



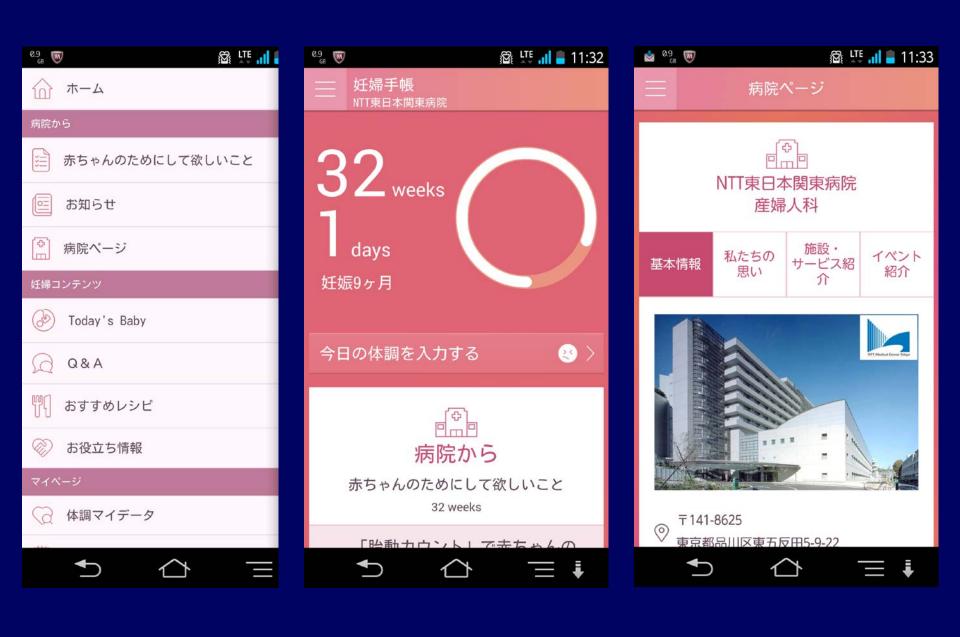
ヘ刀垻日: 気分・体重・睡眠・便通 つわり・質問メモ

■管理画面(タブレット)





病院側は、④⑤の入力情報を特定のサイトから確認し、 自己管理を促進するためのツールとして利用







妊婦健診時のメリット

- 短い診療時間の有効活用 -

eラーニングアプリ

一般的な内容の理解が進み、結果として個別の問題について説明・指導する時間が増加

入力データの確認

体重・体調の記載、質問事項を予め把握可能

体重増加 → 保健指導

悪 阻 → 点滴? 入院?

自由記載の質問内容を確認可能

最初から的確な説明・指導が可能

関連事項の話も一緒にお話

『自分の体調を見てもらっているという安心感がある』

メニュー

妊婦一覧

妊婦の体調データ、赤ちゃんのためにして欲しいこと、先生への質問メモが閲覧できます。

病院からのお知らせ管理

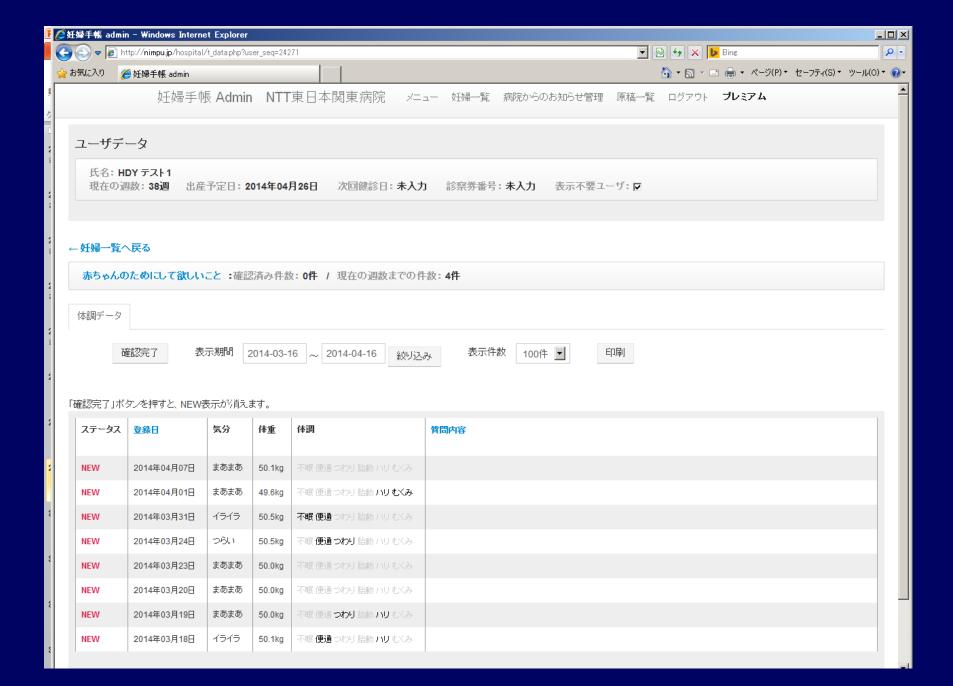
病院からのお知らせの新規登録、編集、削除が行えます。

原稿一覧

Today's baby、FAQ、赤ちゃんのためにして欲しいことの内容を確認できます。

バスワード変更はこちら

最終更新日2013-10-16 15:41:44



課題:診療内容/検査データの共有

日本産婦人科医会

母子健康手帳の電子化と標準化を目指す「電子母子健康手帳標準化委員会」



標準化のもとで 『情報の共有』 紹介状が不要 再検査不要

デジタルデータはデジタルデータのままで







アナログデータ

デジタルデータ

画像データ 手入力:転記



妊婦健診 検査結果 デジタルデータ ァ デジタルデータ



入力の手間なし 転記ミスなし 再検査不要

→ 医療費抑制

お母さんと赤ちゃんのためのアプリ

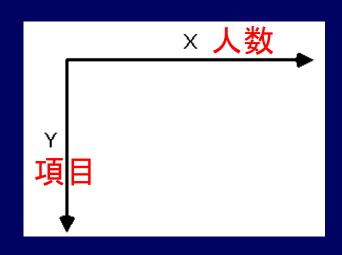
産まれたことで、アプリは終了 その次は、お母さんと赤ちゃんのためのアプリ 簡単に記録をする 正確な記録を残す

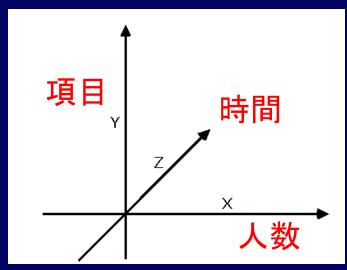
- → その赤ちゃんの全てのデータ
- → 『ロングデータ』

ビッグデータ

市販されているデータベース管理ツールや従来の データ処理アプリケーションで処理することが困難な ほど巨大で複雑な データ集合の集積物

医療におけるビッグデータ 多くの人に関する、多くの項目のデータ さらに長期間にわたるデータ





ビッグデータとロングデータ

多くの人に関する、多くの項目のデータ

→ 医療ビッグデータ

ある個人の長時間にわたる様々なデータ

→ ロングデータ

個人データは、ビッグデータの中に存在抽出が困難な、全く異なった概念

母子健康手帳 日本の『医療記録』制度の始まり

- 昭和17年、厚生省令「妊産婦手帳規定」が 交付され、妊産婦登録制度が発足
- 戦時中には物資や食料の特別配給があった こともあり、急速に普及
- 第二次大戦をはさんで、出産までしか記録できなかった「妊産婦手帳」を小児にまで拡大し、昭和23年「母子健康手帳」が作成され、 妊産婦や周産期死亡率が激減
 - → 最も古い紙版PHRの一つ

成長・発達の記録

- 母子手帳にも、成長・発達の記録を記入する 部分がある
- 『つかまり立ちしたのはいつ?』その時に記載していないと、詳細不明
 - → スマホの活用

写真をとる/日記にスタンプをする などの工夫で記録を楽にする

PHR (personal health record)

個人健康記録/個人医療記録

『自己責任のもとで集約化した 自分の健康に関する情報の記録』

- 子供にとっては、出生前の母親の記録も組み込まれるべき
- 天災や母親のバッグの盗難などで母子手帳を紛失 この貴重なデータは失われてしまう
- いつでも収集して、写真も含めたデジタルデータとして保存スマホをデバイスとして選択
- 大きな目標のために、多くのデバイス/アプリなどと連携

ロングデータの例

胎内のデータ

妊娠中のお母さんの血圧、尿糖、尿タンパク、検査結果 妊娠中に飲んだ薬、かかった病気、予防接種

産まれてからのデータ

生まれた時の身長や体重

1ヶ月健診以降の小児科での成長・発達の記録

小児科・保健所での予防接種

小児科を受診:症状、検査データ、湿疹:写真

発達:首がすわる、ハイハイ、つかまり立ち、発語・・・

健康:かかった病気や飲んだ薬

成長:靴や洋服の大きさ、かけっこ・水泳のタイム

学校:通知表に出席日数、健康カードに身長や体重、運動の記録

女児であれば初経の記録

写真:日時・場所・状態の簡潔な記録

ロングデータの意義

- 目的のないデータ収集:母親の愛金銭の負担もない
- 将来、親から子へ引き継ぐ
- 紙の記録は残してあっても、データとしては埋没
 - → 持ち運び可能な通信機能があるデバイス
 - → スマートフォン
- 何に使うのかはまだ不明、しかしその時に集めようとしても不可能なデータ

日本經濟新聞

7月9日 水曜日



Web∄

速報

ビジネスリーダー

マーケット

マネー

テクノロジー

ライフ

スポーツ

企業

政治

株・金融 : スポーツ : 社会 : ニュース18時 : その他ジャンル▼

速報 > 企業 > 記事

患者情報、クラウド使い病院間で共有 ドコモが8月開始

2014/7/6 2:00 日本経済新聞 電子版













NTTドコモは8月から、患者の画像データや診察結果などを複数の病院で共有するクラウド サービスを始める。まず東京慈恵会医科大学付属病院など有力15病院が導入する。電子カルテシ ステムで共有するより導入負担が軽く、画像などをスマートフォン(スマホ)で確認でき医師が 協力しやすい。病院の垣根を越え連携できれば迅速で的確な治療に役立つ。

まとめ

スマホアプリ「妊婦手帳」電子マタニティーブック

• ロングデータ

生まれる前からのデータの蓄積 生まれてからの様々なデータも一緒に